

観音寺中学校 道徳通信 12月号

12月号では、礼儀について考えた1年生の授業「学習机」をご紹介します。

新入社員の「私」は、自らの不手際で違う型の学習机をお客様に配達してしまった。その際に、相手の気持ちを考えない言動でお客様を怒らせてしまい、先輩の言葉で自分がどれほど礼儀を欠いた態度を取ってしまったかに気付く…。人と関わるときに大切な礼儀の心とは、どのようなものなのだろうか。



生徒達は物語を読み、「私」や「お客様」の気持ちを想像することで「私」に足りなかった礼儀の心について考えを深めました。

○ 授業を通して思ったことや考えたこと（生徒記述より）

<p>相手を悪く思いながら「ありがとう」などと言っても、人には悪く思っている気持ちが伝わってしまうので、言葉からではなく気持ちから気を付けるようにすると思った。</p>	<p>礼儀は形だけでなく、悪いことをしてしまったとき、本当に申し訳ないとか、感謝とか、そういう気持ち的な面も大事だと思う。</p>
<p>礼儀は心だけでなく、行動することも礼儀のひとつで大事なことだと思います。私も、年上の人にはきちんと敬語をつかい、今までよりも後のことを考えて行動できる優しい心の人になります。</p>	<p>自分のミスで間違えたときには、反省の態度を相手に表したらいいと思いました。礼儀の心は、周りの人の気持ちを考えたり、相手を尊重したりすることだと思います。</p>
<p>言葉だけでなく形で表すのが礼儀だと思った。言葉だけでは嘘っぽい感じがするけど、行動で表したら本当に相手のことを思っているんだなと感じると思った。親しき仲にも礼儀ありの大切さを考えさせられた。</p>	<p>自分がどの立場にいるかによって礼儀の種類は変わるけど、どの立場になっても礼儀は大切だということに気付けたかなと思います。これからも礼儀を大切にし、生活したいと思いました。</p>
<p>自分からしたら「まあ、いっか」という気持ちだけど、相手からしたら「楽しみにしていたのに」と悲しい気持ちだと思うので、人の気持ちをよく考えることが改めて大切だと思いました。</p>	<p>人と関わるときに大切な礼儀の心は、大人になるにつれて使う場面が増えていくと思うので、相手のことを考えた言動を今のうちにできるようになっていきたいです。</p>

道徳通信11月号の返信より

- ・ 自分の心の声を聞いて、善悪と向き合い判断できる人になってほしいなと思いました。もし悩んだときには話しができるような間柄でたいです。
- ・ 少しくらいという気持ちに負けないよう、自分自身しか持っていないオリジナリティを大切にしてほしいと思います。また、常に自分自身と向き合い、善悪の判断ができる大人になってほしいと思いました。

ご返信、ありがとうございました♪

～ お知らせ ～

今年度の道徳通信は、ミットメール配信とします。「返信欄」の代わりに、ご意見やご感想がございましたらミットメールのアンケート機能として「返信欄」を設けますのでそちらでご回答ください。たくさんのご返信をお待ちしております。